

射水市学校施設（小中学校・幼稚園）の耐震化状況

1 耐震化の状況

学校施設の耐震化状況【平成 27 年 4 月現在】

（単位：棟）

建物区分	学校種別	全棟数 (a)	耐震性有		耐震性無				耐震化率 (b) / (a)	
			(b)	新耐震	補強済	Is値（2次診断）				
						Is < 0.3	0.3 Is < 0.6	0.6 Is		
校舎	全体	75	75	37	38	0	0	0	0	100.0%
	小学校	47	47	27	20	0	0	0	0	100.0%
	中学校	25	25	9	16	0	0	0	0	100.0%
	幼稚園	3	3	1	2	0	0	0	0	100.0%
体育館 武道場	全体	24	24	20	4	0	0	0	0	100.0%
	小学校	16	16	14	2	0	0	0	0	100.0%
	中学校	8	8	6	2	0	0	0	0	100.0%
	幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	全体	99	99	57	42	0	0	0	0	100.0%
	小学校	63	63	41	22	0	0	0	0	100.0%
	中学校	33	33	15	18	0	0	0	0	100.0%
	小中計	96	96	56	40	0	0	0	0	100.0%
	幼稚園	3	3	1	2	0	0	0	0	100.0%

用語の説明

- ・ Is 値（構造耐震指標：建物の耐震性能を示す指標で、建物の構造部材の強度と粘りをもとに、建物の形状・経年変化を考慮し、耐震診断基準による計算式により算出されたもの）
- ・ 2次診断（耐震補強内容の検討を行うため、建物の耐震性能を詳細に評価する診断方法）
- ・ 耐震性有（昭和 56 年 6 月以降の新耐震基準で設計された建物と耐震補強済みの建物）
- ・ 耐震性無（昭和 56 年 5 月以前の旧耐震基準で設計された建物で、耐震化が必要な建物）

2 市立学校施設の耐震化の考え方

- (1) 総合計画に基づき、計画的に全施設耐震化を目指す。
- (2) 特に早急な対応が必要である Is 値 0.3 未満の建物は、地震防災対策特別措置法に基づき早急な事業化に努める。
- (3) Is 値及び建物強度の状況を踏まえ、優先度の高い建物から順次耐震化を進める。